

表紙

・私たちはこれからも選んで食べることができるのか

P2

・「GM/ゲノム編集学会」開催報告
ゲノム編集食品の現状とこれからの対策を考えよう！

P3

・活動報告 セっけん利用推進企画/第2回コスメ試供会/メイト企画
・組合員紹介 ・生産者紹介

P4

・エスコープ大阪第6次中期計画
・エッコロ給付状況報告
・理事会報告
・おたよりネット・編集後記

エスコープ大阪機関紙

第207号

3

20.

.23

りっぷる

Ripple

私たちはこれからも 選んで食べることができるのか

遺伝子操作を利用した農作物や家畜の育種において、遺伝子組み換え(以下GM)より簡単で精度の高い改変ができるゲノム編集技術の研究と開発が急速に広がっています。届出制度が始まっているので、いつ食卓にのぼってもおかしくありません。私たちは選んで食べることができるのでしょうか。ゲノム編集技術に詳しく生命倫理や社会に及ぼす影響を研究している北海道大学の石井哲也さんにお聞きしました。

(聞き手:環境担当常務理事 泉 容子)



北海道大学 安全衛生本部教授

石井 哲也さん

経済的効果を優先した ゲノム編集食品の推進

泉 日本では、GM作物には「カルタヘナ議定書」による法規制がありますが、ゲノム編集については一部適用外としています。

石井 経済的成長のための「統合イノベーション戦略」が2018年6月に閣議決定され、政府は幅広い分野で規制緩和によるイノベーション(技術革新)振興を進めようとしています。その一環として、バイオテクノロジー分野ではゲノム編集技術に焦点を当て、同年中に規制のあり方を定めることが決定されました。しかし、国会で議論することを回避して各省庁にルール作りが課せられた結果、外来遺伝子を導入しない方法については規制対象外とされました。現在、開発が進んでいる方法はほとんどが外来遺伝子を導入しないものです。国への届出制度がありますが、届出内容も明確にされていないという

に任意となっています。すべて事業者の責任に委ねられていますが、ルール作りをしない国に責任がないとは思えません。また、国はゲノム編集技術について消費者の理解を促進するためにリスク・コミュニケーションを展開していますが、消費者の利益ばかりの情報提供であり、リスクについては十分知らされていません。

選べないことが 最大の問題

泉 石井先生はゲノム編集食品を食べたいと思われませんか。

石井 僕は食品に哲学を持っていて、納得したうえでしか食べたくありません。消費者にとつて日々の食生活は大切です。匂や嗜好を加味しながら、栄養価や値段など、さまざまな利点と欠点を考慮して選んでいるはずです。現在開発されているゲノム編集食品は、肉厚であったり成長が早いため生産コストの低い養殖魚や多収性のイネ、栄養価の高いトマトや大豆などです。それは消費者にとつても利点があるのですが、一方で欠点については一切提示されていま

せん。何よりゲノム編集のようない新しい技術には、まだ未知な部分(2面「ゲノム編集の問題点」参照)があるため安全性の評価法が定まっています。規制や情報提供が不十分で安全性のわからない物を食べさせられる、消費者が食を選べないということが最大の問題です。GM作物はカルタヘナ法による規制が適用されています。ある意味、それによる安全審査があつたおかげで、大きな健康問題が生じていないとも考えられます。

「安心」は「信頼」によって得られる

石井 ゲノム編集技術の食品応用自体は否定しませんが、安全性の評価法が定まっていな以上、予防的な措置を取って監視管理されないといけません。今回のゲノム編集の規制についての進め方は十分な議論がなされたとは思えません。消費者も議論に参加し、多くの人が納得できるルールを作ることが大切です。100%安全(ゼロリスク)な食べ物には存在しません。どういうリスクがあるのか知った上で、自分が許容できる範囲なら安心して食べることがで

きるのです。事実に基づく情報だけでなく、信頼できる人が作っているということも重要になってきます。農業において、おいしさの追求だけではなく環境に配慮して作られているかなど、「信頼できる」とは共感できる価値があることです。例えば、アメリカでゲノム編集で開発された高オレイン酸大豆の油が販売されていますが、「高オレイン酸」の表示よりも「NON・GM」の表示を大きくしています。そのための生産から流通までの分別管理もおこなっています。確かにGMではありませんが、その販売方法に疑問を感じます。ゲノム編集に携わる人が、何を目的に誰のために開発を進めているのか、信頼に値するかどうか見極めてください。

泉 私たちは、生命の倫理に反し、企業による支配を招く恐れのある食べ物の遺伝子操作に反対しています。私たちはこれまでGM反対運動をおこなない、NON・GM作物を確保するために生産者と対話を重ねて信頼を構築してきました。ゲノム編集食品についても反対し、個々の生産者だけでなく企業や政府とも、利益とリスクを議論しながら対策を進めていきます。

「GM/ゲノム編集学習会」開催報告

ゲノム編集食品の現状と これからの対策を考えよう!

～組合員・生産者・職員それぞれの立場の共有～



2月2日(日)、エスコープ大阪環境委員会が主催して「GM/ゲノム編集学習会」をフェニーチェ堺(堺市堺区)で開催し、125名が参加しました。日本ではゲノム編集食品のほとんどが規制対象外となったため、環境審査・安全審査・表示義務もないまま任意の届出制度が始まっています。肉厚の真鯛や血圧上昇を抑えるGABA含有量の多いトマト、すでに米国で商業流通している高オレイン酸大豆などが届出準備に入っています。消費材の原材料にゲノム編集食品を入れないために、今後の取り組みについて組合員・生産者・職員が学習し、話し合う機会を持ちました。

基調講演「ゲノム編集農産品をどう扱うべきか」



石井 哲也さん
(北海道大学安全衛生本部教授)

ゲノム編集技術の法規制

遺伝子操作の育種法において、それまでの遺伝子組み換え(GM)よりも格段に精度の高いゲノム編集という技術が2010年代に確立され、世界中に急速に普及しました。国ごとに規制について方向性が決まりつつあります。GM栽培を積極的におこなってきたアメリカ、アルゼンチン、ブラジル、中国、ロシアなどはゲノム編集を振興し、規制をかけない方向です。またGMに否定的なニュージーランドやEUはGMの法規制をそのままゲノム編集に適用しています。日本ではGMについては規制を設けて慎重に技術応用を進める政策をとってきましたが、ゲノム編集技術については規制を緩和し、技術革新を目指すようです。

ゲノム編集の問題点

ゲノム編集は低コストで簡単に遺伝子进行操作できる上に、GMよりも精度が高いものの、問題がないわけではありません。オフターゲット変異が起る可能



井村 直樹さん
(三重県漁業協同組合連合会 常務理事)

研究、生産、消費 それぞれの立場で 意見交換

基調講演をもとに、ゲノム編集技術についてそれぞれの立場での考えや対策について意見交換をおこないました。

利益に関する情報が先走り、リスクの評価や管理が十分におこなわれていません。適切に使うルール作りが大切です。
※オフターゲット変異：狙った遺伝子配列とは違う部分に変異をおこすこと。

漁業生産者の立場から、「近年の漁獲量減少により養殖にも力を入れていく必要がある。成長が早い、肉厚など生産者にとって都合の良い魚でも、消費者が遺伝子操作を懸念して売れなければ作る意味がない。GMサケのように生殖能力がない魚では、持続可能な漁業が成り立たない」。



石津 大輔さん
(針江げんき米栽培グループ)

米農家の立場から、「一般では種のことをよく考えて購入する農家ばかりではないので、ゲノム編集で開発された種も国が推奨すれば普及する可能性がある。気候変動の影響が深刻だが、栽培時期を変えるなど、自分たちができることはまだまだある」。



北辻 美樹さん
(エスコープ大阪 理事長)

組合員の立場から、「これまで生協では自分たちが食べたいと思うものを生産者と議論しながら作ってきた。ゲノム編集食品の対策については、個々の生産者だけでなく、漁協や育苗業者など各分野の方々と連携する必要性を感じた」。



前田 和記さん
(生活クラブ連合会 企画部部長)

生活クラブ連合会職員の立場から「日本ではGM食品の商業用栽培はしていないので、国産品を追求することでGM食品を回避してきたが、ゲノム編集は国内生産となることが課題である。GM食品の商業流通が始まってから、消費者の運動によりカルタヘナ法が施行されて規制がかかるまで8年かかった。ゲノム編集についても消費者のパワーで規制を作っていくことが大切。今はそのスタート地点と言える」。

生活クラブの取り組み

GM食品の対策として、私たちの食べる力を結集することで、生産者とともに情報開示や安定供給を維持し、消費材の原材料をNON・GMに切り替えてきました。また、生物多様性を脅かすことのないように、GMナタネ自生調査を毎年続けています。エスコープ大阪も参加し、全国の仲間とすべてのゲノム編集生物について環境影響評価・食品安全性審査・表示の義務を求める請願署名を集めて関係大臣に提出しました。

私たちはGM食品同様ゲノム編集食品についても消費材の原材料に受け入れないことを基本としています。対策については、これから構築していくことになります。食べる仲間を集め、食を選ぶ権利を守るための運動を広げましょう。

大阪市南・中河内地域委員会
せっけん利用推進企画
1月16日(水)
若江岩田駅前リージョン
センター・美術工芸室
(東大阪市)

大阪市南・中河内地域理事
今里 元子



人にも環境にも優しい 天然の界面活性剤の心地良さ

めたせっけんをさらに1ヶ月〜1ヶ月半ほど乾燥させたら出来上がり。参加者からは、「原材料が油と苛性ソーダだけで、シンプルに作れることに驚いた!」との声や、型に流し入れたせっけんを見ながら「使える日が待ち遠しいね!」と笑顔がこぼれました。

地域委員の声をきつかけに、せっけんの良さを伝え消費材を推進するため、5名が参加しました。



手作りせっけんに詳しい地域組合員を講師に招いて、肌と環境に優しいシャンプーせっけん作りがスタート! 材料は、オリーブ油とパーム油、パーム核油、ヒマシ油といった数種類の油と、水と劇薬の苛性ソーダです。通常のせっけんよりも油を多く使うことで泡立ちが良くなり洗いやすくなるとのこと。初めに苛性ソーダ水を作り、次に油を正確に量り混ぜて43〜45℃まで温めます。温めた油と苛性ソーダ水を混ぜて攪拌し、白濁してとろみがついたら型に流し入れます。家に持ち帰り、1日以上保温して固

めてせっけん作り後は「エスケー石鹸(株)」監修のDVDを視聴してもらい、環境負荷の少ないせっけんの優位性について考える時間を持ちました。「自分たちが使うもののひとつで環境に与える影響が大きく違ってくるんだね」「消費材のせっけんを、今一度しっかりと見たい」との感想がありました。水と油を混ぜる界面活性剤の中でも天然の油脂を使い、余計な添加物も使わない私たちのせっけんは、最後は自然界に負荷をかけることなく分解されていきます。一方の合成洗剤はどうでしょう? せっけん利用の輪が広まるよう、せっけんの良さを今後発信していきます。



コスメ専門委員会 第2回コスメ試供会

2月4日(火)
和泉シティプラザ
(和泉市)

コスメ専門委員 藤本 裕子



消費材を使ったセルフ マッサージが好評でした

「お肌がしっとりした」「肌の色がワントーン明るくなった感じがする」「とても気持ち良かった」との感想がありました。消費材の効果を実感してもらえてとても嬉しかったです。

前回好評だった「コスメ試供会」の2回目を開催し、8名が参加しました。今回は、肌の調子やメイクのノリを良くするために、入浴後や朝のお手入れ前におこなうと効果的な「セルフマッサージ」をお伝えしました。

まずはマッサージの前にクレンジング剤や洗顔料を試用してもらいました。次にいよいよ、マッサージクリームを使つてのセルフマッサージ。コスメ委員は事前に効果的なマッサージの方法を練習していたので、しっかりとお伝えすることができました。

マッサージ後、化粧水の浸透をよくするために「ハイム化粧品(株)」の『ふき取り化粧水』でマッサージクリームをふき取ると、

泉州地域委員会 メイト企画

2月5日(水)
岬町望海坂第一集会場
(岬町)

泉州地域委員 黒澤 敦子



手仕事とおしゃべりでほっこりしました!

ました。

2月は「エコたわしづくり」を企画。「いつも母が作ったのをもらっているが、この機会に作ってみようと思った」という人や、編み物はほとんど

岬町の組合員がメイト登録・申請をして企画を開催しました。同じ会場で、6月は「豚肉試食会」、8月は「レジンアクセサリー作り」、11月は「クリスマスリース作り」をし、地域組合員や地域の人々との交流を図り

したことがない人も、手ほどきを受けながら編み上げました。一方で、編み図を見ながらネズミの編みぐるみ風たわしに挑戦する人など子育て世代を中心に集まり、手仕事をしながら楽しいひと時を過ごしました。

また、消費材の『ちらし寿司の素』を使つたひな祭り向けのお寿司と豚ウデ肉の紅茶煮の試食もしました。エスコープ大阪自慢の「(株)ウインナークラブ」の豚ブロック肉を使つた紅茶煮のおいしさに、「おいしいから作ってみたい!」「ブロック肉の使い方を知りたい!」という声があり、多彩な趣味と特技のあ



る組合員が2020年度もメイトに登録し、豚肉をテーマにした企画の申請を検討されるようです。メイト企画は組合員の「やってみたい!」を応援する企画です。エスコープ大阪の運動・方針に反しないことであれば、地域委員会の承認のもと企画内容を提案することができ、理事会で予算を承認されれば開催に必要な費用の補助が出ます。今後もメイト企画を利用して、組合員のさまざまな「やってみたい!」が実現し、同時に組合員の交流が深まることを期待しています。

私たちの生産者

<第6回> 三重県漁業協同組合連合会 鮮冷加工部 加工営業製造課 副調査役 小林 洋之さん



休みの日は、奥様と長男(6歳)、次男(4歳)、長女(1歳)を入れて取り組んでいるのが、海藻の「アカモク」です。今までは限られた地域で流通していたそうで、産地を支える次世代の漁業資源として組合員にもっと宣伝して、若い漁師の後押しをしたいとのことでした。

今、若い漁師を中心に力を入れて取り組んでいるのが、海藻の「アカモク」です。今までは限られた地域で流通していたそうで、産地を支える次世代の漁業資源として組合員にもっと宣伝して、若い漁師の後押しをしたいとのことでした。

※対等互恵...一般的に商業の世界では、力関係において購入者(販売者)が製造者より上位にありますが、生活クラブと提携生産者は「共に市場の問題解決をめざし、協力と努力し合う対等な関係」であり、その関係を通して「生産し続けられ、食べ続けられる取引を構築していること」。

私たちの消費材の生産者を取り上げ、その人物像や消費材・生活クラブへの想いなどを紹介します。

入社2年後に営業課に転属され、生活クラブの担当になってから生活クラブの理念である「対等互恵」を学び、組合員と産地に行つて漁師の疲弊や現状を知る中で、「自分は海の恵みを組合員に届けると同時に、気候変動などで不漁が続く漁師の課題も知り、解決の手助けがしたい」と思うようになつていったそうです。

の5人家族で、よく買い物に行くそうです。元気なお子さんは迷子になることもあり、目が離せません。「すこし過保護かなと思うこともありますが、3人の子とも達はとてかわいい」と、目を細めて優しいパパの顔をされました。人と話すことが好きだという小林さんは、これからも組合員と漁師の架け橋になりたいとのこと。食べる行動だけでは解決できない水揚げ量の減少など、日本の漁業の現状は大変厳しいものがあります。が、次世代の漁業を模索し頑張っている若い生産者がいることを頼もしく思えました。環境問題への取り組みと私たちの食はつながっていることを再確認できました。

紹介します!!
うちの地域の
組合員さんです

文句なしの おいしさに出会った

亀井 敦子さん
[泉州地域]



した。そんな時、エスコープ大阪のノンホモ牛乳を試飲して、文句なしに「これはおいしい!!」となり、エスコープ大阪に加入したそうです。今や豚肉やベーコンは料理作りには外せないアイテムになっているそうです。

泉州地域委員会では、毎年恒例のしめ縄作りのための稲わら打ちをする機会があり「仲間同士の何気ない会話の中にも教わることもあり、生の声を交わせる場があることは、やはり大事」と言っておられました。

多趣味な亀井さん。その経験を活動に活かしてもらえると期待しています。これからも一緒に楽しく、地域委員会を盛り上げていきましょう。

聞き手 日紫喜 啓子(泉州地域理事)



第10回 理事会報告 <2月5日>

【12月度決算報告】

- 供給高 2億4,782万円(前年同月比99.1%)
- 組合員数 19,626名(前月比+7)
- 一人あたりの出資金 80,425円

【1月の放射能検査結果】

1月は連合消費材674検体、エスコープ大阪独自の消費材5検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【協議事項】

- ①総代会開催について
- ②総代選挙の実施について
- ③エスコープ大阪50周年記念広報企画「南海バスラッピング広告」提案

【報告承認事項】

- ①地域区役員推薦委員の決定
- ②2020年6月以降の常務理事会体制について
- ③生活クラブ連合会「2019年度活動報告・2020年度活動方針」(事務局案)への単協意見提出
- ④2019年政策討論集会と連合総会への参加
- ⑤5月共済おすすめ強化月間
- ⑥「生活クラブでんき」キャンペーン中の活動と7月推進月間について
- ⑦自然エネルギー大好き委員会主催の「アースデイはまでらこうえん」出店
- ⑧2020年度の理事・委員研修について
- ⑨50周年記念事業の進め方(理事会確認方法)の再確認
- ⑩50周年記念式典プログラム(案)
- ⑪豚肉加工品開発について
- ⑫ビオサポ講座の開催について
- ⑬エスコープ大阪まつり2019まとめ 差替・当日
- ⑭店舗地域準備会の2020年度活動計画と予算
- ⑮機関紙りっぷる2020年度掲載スケジュール案とコンセプト案
- ⑯機関紙りっぷる4面の子育てひろば情報掲載について
- ⑰エコスペースゆうの子育てひろば活用について

エスコープ大阪では第6次中期計画として、いろいろなことを生み出すための基礎づくりをすすめていきます。「人が人としていきいきと生きていける持続可能な社会をつくる」ために、またその活動を上げていくためのヒト・コト・モノ・ハコをつくり出します。

今回は中期計画の実行方針である「人づくりとつながりをさらにすすめていきます」という方針の中にある、「エスコープ大阪設立50周年事業をすすめます」についてお伝えします。

エスコープ大阪が設立して50年!! 変わったコトも変わらないコトも…皆で祝おう

エスコープ大阪は、大阪のベットタウンとして開発された堺市の泉北ニュータウンで1970年に設立されました。当時は日本万国博覧会が大阪で開催され、高度経済成長の真っただ中。経済効率が最優先され国は農薬や化学肥料を多用する近代農業を政策としてすすめ、食品の安全性や公害、物価高騰などが社会問題となっていた時代でもありました。

そんな時代背景に「自分たちの暮らしを自分たちで守ろう、作ろう」と集まった780人の主婦たちがいました。そこから始まり50年目を迎える2020年度は、半世紀の歩みを振り返りながら、さまざまな取り組みを通して、いっそうエスコープ大阪の政策や消費材についての認識を深め、次の活動につなげていこうと考えています。

50周年事業として取り組むもの

豚肉加工品開発

50年間で変わらないもの。それは、エスコープ大阪は組合員が自ら運営すること。そして消費材の開発には組合員の想いが込められていることです。今年は関西の生活クラブ6生協から委任を受け、エスコープ大阪が「株式会社ウインナークラブ」の豚肉加工品を組合員参加で開発します。関わる組合員と職員が主体的に取り組み、力量アップにつなげます。

お得なセット企画

組合員への還元企画として毎月、お得な消費材のセット利用キャンペーンや5%OFF企画をおこないます。配布されるエスコープ大阪独自チラシをお見逃しなく。

まつり

今年のまつりは設立50周年まつりとして、多くの生産者と組合員で50周年をお祝いしましょう。徐々に屋外での開催にあたり、さらにエスコープ大阪を多くの人に知ってもらい、ファンを増やす大きなイベントとします。

記念式典

50年は大きな節目です。これまで運動を推進してきた組合員、役員、関係団体を招いて来年1月に記念式典を開催します。

記念誌

設立から50年を振り返るとともに未来へ伝える大切なメッセージとして作成します。

外部広報

組合員拡大として1年間、南海バスのラッピング広告をおこない、内外にエスコープ大阪50周年を情宣します。

訪問研修・講演会

これからの10年、20年、エスコープ大阪をさらに躍進させていくには、人材育成が欠かせません。今ある課題を解決するため、新しい視点で発想ができるように、組合員や役職員の見識を広げる活動や訪問研修、講演会などを積極的におこなう予定です。

おたよりネット

「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

205号表紙「誰もが暮らしやすい街づくりのための100円」を読んで

紙面モニター Cさん

「障がいを持つ子ども」という表現があり、すべての障がいは、その人が持っているのではなく、社会との関係で生じるものです。これからは「障がいがある」と表現してほしいと強く思います。

☒ 編集過程で「ある」を「持つ」に記載しましたが、意見を受けて福祉担当の役職員中心に意見交換し、「障がいがある」と表現することとしました。障害がある人もない人も同じひとりの人間として共に生きていける社会をつくるのが大切と考えます。

205号2面「エスコープ大阪まつり2019」を読んで

紙面モニター Dさん

「生産者どうしも交流できたコラボ企画」…知らなかった…コラボ企画があったなんて試食したかったです。「おさかなソーセージチップス」も、『薄くスライスして電子レンジでチン』?! 初参加のおまつりでしたが、生産者ブースのお手伝いをしていてあまり回れなかったのが、次はいろいろ見て回りたい! と思いました。

キリトリ

Ripple おたよりネット

(ペンネームOK)

●地域名

●お名前

●組合員コード

●班名

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事會事務局行き
207号(2020.3.23)



エコロ制度 2月度報告

加入者数 1,299名

給付状況	組合員活動を支えるためのケア	0件
	組合員活動中の共同購入品受け取りケア	0件
	加入者本人の入院・通院・在宅療養に伴うケア	5件
	加入者家族の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
	加入者本人の産前産後のケア	0件
	長期に留守をする時のケア	2件
	リフレッシュのためのケア	0件
	儀式・行事に伴うケア	2件
	高齢の加入者をサポートするケア	2件

編集後記

言葉を使うことは難しい。使っている言葉が本当に思っていることを表現しているかはわからない。今回、りっぷるモニターの方に提起していただきましたが、「障がいがある」という言葉を使っても実が伴っていなければ意味がない。伝えたい私たちは、しっかりとした考えをもって言葉を使うことが必要だと改めて思いました。(O)

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

<https://s-osaka.seikatsuclub.coop/>